

○特許庁告示第一号
工業所有権に関する手続等の特例に関する法律（平成二年法律第三十号）第三十七条の規定に基づき登録調査機関として登録した株式会社A I R I から、登録調査機関の調査業務を行う事務所の所在地を変更する届出があつたため、同法第三十九条において準用する同法第三十四条第二号の規定に基づき、次のとおり公示する。
平成三十一年一月四日
特許庁長官 宗像 直子

登録番号	登録調査機関の名称	変更後の調査業務を行う事務所の所在地
第6号	株式会社A I R I	（本社） 東京都港区芝四丁目4番10号
第15号		（目黒支所） 東京都品川区上大崎三丁目3番1号
第23号		（六本木支所） 東京都港区六本木二丁目1番13号
第25号		（横浜支所） 神奈川県横浜市新横浜二丁目6番地1
第36号		（関西支社 京都事務所） 京都府京都市中京区車屋町通御池下る梅屋町361番1
第42号		京都府京都市中京区車屋町通御池下る梅屋町358番地
第46号	（関西支社 大阪事務所） 大阪府大阪市中央区北浜2丁目2番22号 （中部支社） 愛知県名古屋市中村区並木2丁目182番地	
第56号		

○国土交通省告示第一号
地すべり等防止法（昭和三十三年法律第三十号）
第三条第一項の規定により、次の地域を地すべり防止区域に指定する。
平成三十一年一月四日
国土交通大臣 石井 啓一

一 新潟県樋田地すべり防止区域
次に掲げる土地に存する標柱一号から九号までを順次結んだ線、並びに標柱一号と九号を一級河川樋田川左岸の官民地境界線及び一級河川渋海川左岸の官民地境界線に沿って結んだ線に囲まれた区域
新潟県十日町市浦田
字十王堂 一〇六六一番 一号
字岡ノ田 八七四一番 二号
字桐ノ木平 八八一五番 三号
字木羽弦根 八三〇九番 五号

字井立 八二七三番五 六号
八二六七番二 七号
八二六六番七 八号
八〇九七番二 九号
○国土交通省告示第二号
地すべり等防止法（昭和三十三年法律第三十号）
第三条第一項の規定により、次の地域を地すべり防止区域に指定する。
平成三十一年一月四日
国土交通大臣 石井 啓一

一 新潟県上の山地すべり防止区域
次に掲げる土地に存する標柱一号から六号までを順次結んだ線、標柱六号と七号を二級河川名立川左岸の河川区域の境界線に沿って結んだ線、標柱七号から十三号までを順次結んだ線及び標柱一号と十三号を結んだ線に囲まれた区域
新潟県上越市名立区赤野俣
字清水ジリ 五八五番一 一号
字先道路敷 六四九番一 二号
字下ノ前 六五一一番 三号

字白山 六八〇番四 四号
六七七番一 五号
字上川原 二〇七三番 七号
字長尾尻 一九六八番 八号
字コヤ谷 一四九六番 九号
字山サカイ 一五三九番 十号
字ヲモロ 一四三一番 十一号
字外平 一六二九番 十二号
一六四〇番 十三号
○国土交通省告示第三号
地すべり等防止法（昭和三十三年法律第三十号）
第三条第一項の規定により、次の地域を地すべり防止区域に指定する。
平成三十一年一月四日
国土交通大臣 石井 啓一

一 新潟県十管平地すべり防止区域
次に掲げる土地に存する標柱一号と二号を二級河川名立川左岸の河川区域の境界線に沿って結んだ線、標柱二号から九号までを順次結んだ線、標柱九号と十号を上越糸魚川自転車道線の官民地境界線に沿って結んだ線、標柱十号と十一号を結んだ線、標柱十一号と十二号を上越市道十管平線の官民地境界線に沿って結んだ線、標柱十二号から十八号までを順次結んだ線及び標柱一号と十八号を順次結んだ線に囲まれた区域
新潟県上越市名立区名立大町
字上川原 一三二〇番四 一号
地先道路敷 三九三七番一 七号
字外十管平 三九四二番二 八号
字西ノ脇道上 一五四七番四 九号
字風口 一六二四番一 十号
一六二三番三 十一号
一五九五番二 十二号
一三九四番一 十三号
一四〇七番一 十四号
一三七二番一 十五号
一三七二番二 十六号
一三五二番六 十七号
一三四六番一 十八号

新潟県上越市名立区坪山
字南ノ俣 一四七番 二号
字前ノ原 一四五番一 三号
字梨平 二一二番一 四号
字池ノ平 三四〇番 五号
三三三番 六号

○国土交通省告示第四号
地すべり等防止法（昭和三十三年法律第三十号）
第三条第一項の規定により、次の地域を地すべり防止区域に指定する。
平成三十一年一月四日
国土交通大臣 石井 啓一

一 和歌山県下瀬湖地すべり防止区域
和歌山県紀の川市大字下瀬湖字畑野九一五番一 地内四等三角点畑野を基準点とし、次に掲げる土地に存する標柱一号から九号までを順次結んだ線及び標柱一号と九号を結んだ線に囲まれた区域
基準点から二六度四八分五八秒
七二四・〇九五メートルの地点 一号
標柱一号から二〇五度二七分五九秒 二号
一〇二・一二八メートルの地点 二号
標柱二号から二七七度九分四一秒 三号
三〇一・二七八メートルの地点 四号
標柱三号から二〇六度一二分一四秒 四号
一九五・六〇八メートルの地点 五号
標柱四号から二六三度五三分九秒 五号
八三・四五七メートルの地点 六号
標柱五号から三三四度二三分二四秒 六号
三六三・七一メートルの地点 七号
標柱六号から一六度五八分二〇秒 七号
二〇〇・四四七メートルの地点 八号
標柱七号から九四度五五分九秒 八号
三六一・六一六メートルの地点 九号
標柱八号から一四〇度四五分三八秒 九号
二八一・九七一メートルの地点 九号

○国土交通省告示第五号
地すべり等防止法（昭和三十三年法律第三十号）
第三条第一項の規定により、次の地域を地すべり防止区域に指定する。
平成三十一年一月四日
国土交通大臣 石井 啓一

一 和歌山県吹井一地すべり防止区域
次に掲げる土地に存する標柱一号から八号までを順次結んだ線及び標柱一号と八号を結んだ線に囲まれた区域
和歌山県日高郡由良町大字吹井
字勢イ谷 八四六番七 一号
八六二番一 二号